平成17年12月期 個別中間財務諸表の概要

平成17年8月19日

上場会社名 株式会社 ジョイフル 上場取引所 福岡証券取引所(市場)

コード番号 9942 本社所在都道府県 大分県

(URL http://www.joyfull.co.jp/)

代表者役職名代表取締役社長氏名穴見陽一問合せ先責任者役職名取締役管理本部長氏名井上博基

T E L (097)551-7131

中間決算取締役会開催日 平成17年8月19日 中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 平成17年9月14日 単元株制度採用の有無 有(1単元100株)

1. 平成17年6月中間期の業績 (平成17年1月1日~平成17年6月30日)

	(1) 経営成績														(白力	円未満り	<u>」捨)</u>
		売	_	L	高		宫	業	利	益		4	径	常	利	益	
ſ			百万円	9		%		百万円			%		Ē	5万円			%
	17年6月中間期	29	769,	(20.7)		718	(15.7)			864		(10.0)	
	16年6月中間期	24	,654	Ì	8.1)		852	Ì	65.4)			960		(62.8)	
ľ	16年12月期	56	3,367					2,591	•				2,801				

	中間(当期)純利益		(たり中間)純利益		潜在株式調整後 中間(当期)		
	百万円	%	P	3	銭	円		銭
17年6月中間期	374	(7.7)	12	72				
16年6月中間期	405	70.6	13	49		13	49	
16年12月期	647		21	79		21	78	

(注) 期中平均株式数 17年 6月中間期 29,411,650株 16年6月中間期 30,059,358株

16年12月期 29,733,597株

期中平均株式数は期中平均自己株式数を控除しております。

会計処理の方法の変更有・(無)

売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

	1株当たり中間	配当金		1株当たり年間	配当金	
	円		銭	円		銭
17年6月中間期	15	00				
16年6月中間期	25	00				
16年12月期				50	00	

(3) 財政状態

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当た	-リ怀工貝平
	百万円	百万円	%	円	銭
17年6月中間期	37,146	12,607	33.9	428	67
16年6月中間期	35,392	13,457	38.0	457	58
16年12月期	36,840	12,967	35.2	440	88

(注) 期末発行済株式数 17年 6月中間期 29,411,618株 16年6月中間期 29,409,316株

16年12月期 29,411,796株

期末自己株式数 17年 6月中間期 2,520,282株 16年6月中間期 2,522,584株

16年12月期 2,520,104株

2. 平成17年12月期の業績予想 (平成17年1月1日~平成17年12月31日)

		売上	高	経	常	利	益	当	期	純	利	益	期	末	1株主	当たり年間配当金		
			百万円				百万円				Ē	万円		円	銭	円		銭
通	期	63,266	6		2,8	52			1	,343	3		15		00	30	00	

66銭

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 45円

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記の業績予想に関する事項は、添付資料9ページをご参照下さい。

比較貸借対照表 (資産の部)

期別	当中間会計期間	ま	前中間会計期間	末	前事業年度	末
	(平成17年6月30日	現在)	(平成16年6月30日日	見在)	(平成16年12月31	日現在)
科目	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)	千円	%	千円	%	千円	%
流動現売商仕原貯前繰短そ貸勤資金 払税蔵 貸の引 を	1,807,552 120,744 26,496 163,719 685,685 94,969 192,239 200,087 70,773 106,897 17,200 3,451,964	9.3	1,980,551 96,271 33,788 155,127 678,003 98,135 217,566 70,913 59,871 43,608 220 3,433,616	9.7	1,870,573 134,416 24,898 198,275 839,667 108,537 100,786 412,495 54,525 86,678 15,600 3,815,254	10.4
固定資産 有形固定資産 建 物物 構 及 び 運 機 械 及 び 運 チャー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14,034,187 3,090,050 358,477 3,889 2,394,028 8,905,226 20,019 28,805,878	77.5	13,384,273 2,977,071 292,136 18,235 2,392,726 8,463,464 132,693 27,660,600	78.1	13,483,611 3,035,767 337,699 4,725 2,364,296 8,905,226 327,212 28,458,538	77.2
無形固定資産 ソフトウェア 電話加入権 無形固定資産合計	55,291 53,127 108,419	0.3	9,551 52,695 62,247	0.2	49,274 53,127 102,402	0.3
投資その他の資産のとの資産の一人の資産の一人の資産の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	79,893 10,000 190 834,443 122,445 332,515 3,400,360 4,779,848	12.9	32,102 30,190 693,833 74,945 231,157 3,173,331 4,235,560	12.0		12.1
固定資産合計	33,694,146	90.7	31,958,408	90.3	33,024,929	89.6
資 産 合 計	37,146,111	100.0	35,392,025	100.0	36,840,184	100.0

比較貸借対照表 (負債・資本の部)

期別	当中間会計期間		前中間会計期		前事業年度末			
科目	(平成17年6月30E 金 額	∃現在) 構成比	(平成16年6月30 金 額	日現在) 構成比	(平成16年12月31 金 額	日現在 <u> </u> 構成比		
(負債の部)	<u> </u>	/## /JX LL %	<u> </u>	梅 ルル ル	<u>並</u> 千円	 		
	TD	90	ТП	90	TD	90		
流動負債								
金 棋 買	3,419,008		2,819,626		3,394,625			
短期借入金	9,200,000		8,700,000		9,700,000			
1年以内返済予定の	4 070 540		4 5 4 7 4 0 5		4 050 505			
長期借入金 未 払 金	1,870,542 1,024,703		1,547,425 1,119,575		1,650,585 778,958			
未 払 金 未 払 費 用	2,657,917		2,458,745		2,033,725			
□ 木 払 員 用 □ ■ 未 払 法 人 税 等	359,000		506,000		2,033,725			
木 払 法 入 杭 寺 未 払 消 費 税 等	158,660		204,734		230,000 175,531			
			•		·			
前 受 収 益 賞 与 引 当 金	155,129		156,008		155,129			
賞 与 引 当 金 閉 店 損 失 引 当 金	115,000 203,116		88,000		110,000 800,000			
■ 閉点損失り∃並 ■ そ の 他	•		06 504		·			
流動負債合計	58,261	E4 0	86,584	50.0	178,631 19,207,186	F0.4		
派 野 貝 頂 口 司	19,221,340	51.8	17,686,698	50.0	19,207,100	52.1		
固 定 負 債								
長期借入金	4,712,388		3,572,930		4,040,380			
役員退職慰労引当金	23,356		12,994		20,186			
長期前受収益	153,003		308,331		229,714			
退職給付引当金	417,139		348,712		367,139			
そ の 他	11,095		5,125		8,445			
固定負債合計	5,316,981	14.3	4,248,092	12.0	4,665,865	12.7		
負 債 合 計	24,538,321	66.1	21,934,791	62.0	23,873,052	64.8		
 (資本の部)								
(只午び叩)								
資 本 金	1,596,595	4.3	1,596,595	4.5	1,596,595	4.3		
資本剰余金								
資本準備金	2,390,432		2,390,432		2,390,432			
資本剰余金合計	2,390,432	6.4	2,390,432	6.8	2,390,432	6.5		
利 益 剰 余 金	,-20,		, ,		,,,,,,,			
利益準備金	403,948		403,948		403,948			
任意積立金	10,000		10,000		10,000			
中間(当期)未処分利益	11,969,939		12,824,003		12,330,974			
利益剰余金合計	12,383,888	33.3	13,237,951	37.4		34.6		
その他有価証券評価差額金	5,600	0.0	4,357	0.0		0.0		
自 己 株 式	3,768,726	10.1	3,772,103	10.7	ŕ	10.2		
資本合計	12,607,789	33.9	13,457,233	38.0	12,967,131	35.2		
負 債·資 本 合 計	37,146,111	100.0	35,392,025	100.0	36,840,184	100.0		

比較損益計算書

期別	当中間会計期	間	前中間会計	期間	前事業年度			
	┌ 自 平成17年1月	1日)	∫自 平成16年1.	月 1日]	「自 平成16年 1月] 1日)		
	し至 平成17年6月		【至 平成16年6月		L至 平成16年12月			
科目	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比		
	千円	%	千円		千円			
│ 売 上 高 ┃	29,769,892	100.0	24,654,231	100.0	56,367,740	100.0		
売 上 原 価	10,291,193	34.6	9,022,621	36.6	20,447,389	36.3		
売 上 総 利 益	19,478,698	65.4	15,631,610	63.4	35,920,351	63.7		
販売費及び一般管理費	18,760,300	63.0		59.9	33,328,472	59.1		
営業 利益	718,398	2.4	852,292	3.5	2,591,878	4.6		
営業外収益	221,302	0.7	159,092	0.6	352,295	0.6		
受 取 利 息	3,307		3,858		6,542			
受取配当金	100		58		58			
不動産賃貸収入	18,829		19,333		44,115			
受取手数料	21,595		15,728		37,719			
受取協賛金	135,274		86,786		180,479			
その他の 収 益	42,195		33,327		83,379			
営業外費用	75,396	0.2	51,219	0.2	142,609	0.2		
支 払 利 息	61,984		40,787		98,780			
貸倒引当金繰入額	700				14,870			
その他の費用	12,711		10,432		28,958			
経常利益	864,303	2.9	960,164	3.9	2,801,565	5.0		
特別利益	40,648	0.1	1,017	0.0	123,863	0.2		
 特 別 損 失	87,275	0.3	60,544	0.2	1,242,859	2.2		
税引前中間(当期)純利益	817,676	2.7	900,638	3.7	1,682,569	3.0		
法人税、住民税及び事業税	266,739	0.9	417,686	1.7	1,365,402	2.4		
法人税等調整額	176,677	0.6	77,334	0.4	330,719	0.6		
中間(当期)純利益	374,259	1.2	405,616	1.6	647,886	1.2		
前 期 繰 越 利 益	11,595,679		12,418,386		12,418,386			
自己株式処分差損					65			
中間配当額					735,232			
中間(当期)未処分利益	11,969,939		12,824,003		12,330,974			

甲剛	間財務諸表作成の基本となる事I	
`	期別	当中間会計期間
項		自 平成17年 1月 1日
	<u>日</u> 資産の評価基準及び	(1) たな卸資産
' '	評価方法	(・) たる時質性 仕込品・・・・移動平均法による原価法
	H11M73724	原材料・・・・移動平均法による原価法
		商品・貯蔵品 ・ ・ 最終仕入原価法による原価法
		(2) 有価証券
		子会社株式・・・・移動平均法による原価法
		その他有価証券
		時価のあるもの ・・・・中間決算日の市場価格等に基づ〈時価法(評価 差額は全部資本直入法により処理し、売却原価
		は移動平均法により算定)
		時価のないもの・・・・投資事業有限責任組合への出資(証券取引法第2条第
		2項により有価証券とみなされるもの)については、組合契
		約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決
		算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっ
		ております。
		(3) デリバティブの評価方法 ・・・ 時価法
2 .	固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産
		建物(建物附属設備を除く)については、平成10年4月1日以後に取得した
		ものは定額法によっております。 上記以外の有形固定資産については、定率法によっております。
		工能以外の有形画定員産については、定準法によりでありより。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
		建物 19~20年
		構築物 10~15年
		工具器具及び備品 4~6年
		(2) ソフトウェア(自社利用)
		社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
		(3) 長期前払費用 定額法によっております。
	71.1/ 4 - 41.1 + 14	
3.	引当金の計上基準	(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権に
		(2) 賞与引当金
		従業員に支給する賞与に充てるため、賞与支給見込額のうち当中間会計期
		間負担相当額を計上しております。
		(3) 退職給付引当金
		従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び
		年金資産の見込額に基づき当中間会計期間末において発生していると認められ る額を計上しております。また、数理計算上の差異は、各年度の発生時における
		び誤されていてのりより。また、数理計算工の左翼は、日午及の元王時にの173 従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(4年)による定額法により按分し
		た額を、それぞれ発生の翌年度から費用処理することとしております。
		(4) 役員退職慰労引当金
		将来の役員の退職に伴う退職金の支払いに充てるため、役員退職慰労金
		規程に基づく支払予定額を計上しております。
		(5)閉店損失引当金 店舗閉店に伴い発生する損失に備えるため、合理的に見込まれる閉店関連損失
		店舗閉店に伴い完全96損失に備えるため、言理的に見込まれる閉店関連損失 見込額を計上しております。
,	U 7FD리스씨™→'+	
4 .	リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナン ス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理
		スパース取引については、通常の負負値取引に係る方法に至した云前処理によっております。
		,
5.	その他中間財務諸表作成の	消費税等の会計処理
	ための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

表示方法の変更

(中間貸借対照表)

「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年法律第97号)が平成16年6月9日に公布され、平成16年12月1日より適用となること及び「金融商品会計に関する実務指針」(会計制度委員会報告第14号)が平成17年2月15日付で改正されたことに伴い、当中間会計期間から投資事業有限責任組合への出資(証券取引 法第2条第2項により有価証券とみなされるもの)を投資有価証券として表示する方法に変更いたしました。 なお、当中間会計期間末の投資有価証券に含まれる当該出資の額は、45.851千円であります。

追加情報

法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示方法

外形標準課税制度の導入による法人事業税の付加価値割及び資本割については、実務対応報告第12号「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(企業会 計基準委員会(平成16年2月13日))に従い、販売費及び一般管理費に計上しております。 この結果、販売費及び一般管理費が53,077千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前中間純利益

が 53,077千円減少しております。

(貸借対照表の注記)

店舗改造計画に伴う損失金

(当中間会計期間末) (前中間会計期間末) (前事業年度末) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 19,922,522 千円 17,985,892 千円 18,937,689 千円 2. 担保提供資産 担保に供している資産は次のとおりであります。 建 物 千円 350,685 千円 343,376 千円 土 地 千円 1,476,697 千円 1,476,697 千円 千円 1,827,382 千円 1,820,073 千円 (同上に対する債務額) 千円) (2,860,000 千円) (2,860,000 千円) ((損益計算書の注記) (当中間会計期間) (前中間会計期間) (前事業年度) 1. 減価償却実施額 有形固定資産 1,270,720 千円 1,063,833 千円 2,441,023 千円 無形固定資産 7,471 千円 2,211 千円 9,235 千円 2. 特別利益の主要項目 固定資産売却益 20,648 千円 507 千円 4,078 千円 119,785 千円 保険金収入 千円 千円 貸倒引当金戻入益 510 千円 千円 千円 損害賠償金収入 20,000 千円 千円 千円 3. 特別損失の主要項目 固定資産除却損 8,412 千円 46,280 千円 69,074 千円 1,201 千円 固定資産売却損 1,420 千円 219,387 千円 退職給付費用 千円 千円 58,946 千円 役員退職慰労金 千円 13,062 千円 13,062 千円 災害損失 千円 千円 82,388 千円 千円 閉店損失引当金繰入額 千円 800,000 千円 棚卸資産廃棄損 26,943 千円 千円 千円 損害賠償金 14,000 千円 千円 千円

36,500 千円

千円

千円

(リース取引関係)

当中間会計期間 自 平成17年1月1日 至 平成17年6月30日

リース物件の所有権が借主に移転すると認めら れるもの以外のファイナンス・リース取引

1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計 額相当額および中間期末残高相当額

							(単位	立∶千月	9)
	取		得	減	価	償	却	丑	間期	末
	価		額	累	Ė	t	額	残		高
	相	当	額	相	<u> </u>	á	額	相	当	額
建物	1,0	027,7	773		28	4,2	51		743,5	21
車両及び運 搬 具		10,	578			8	81		9,6	96
工具器具及 び 備 品	,	361,	577		2	4,5	43		337,0	33
ソフトウェア		96,3	325			4,0	13		92,3	12
合 計	1,4	496,2	254		31:	3,6	90	1	,182,5	64

- 取得価額相当額は、未経過リース料中 間期末残高が有形固定資産の中間期 末残高等に占める割合が低いため支払 利子込み法により算定しております。
- 2)未経過リース料中間期末残高相当額 1年以内 132.999 千円 1 年 超 1,049,564 千円 1.182.564 千円
- (注) 未経過リース料中間期末残高相 当額は、未経過リース料中間期 末残高が有形固定資産の中間 期末残高等に占める割合が低い ため支払利子込み法により算定 しております。
- 3)支払リース料、減価償却費相当額 支払リース料 53,904 千円 減価償却費相当額 53,904 千円
- 4)減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とす る定額法によっております。

前中間会計期間 自 平成16年1月1日 至 平成16年 6月30日

リース物件の所有権が借主に移転すると認め られるもの以外のファイナンス・リース取引

1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累 計額相当額および中間期末残高相当額

(単位:千円)

									_ (+ 1	<u></u>	<u> </u>	J/
		耳	Z		得	減	価	償	却	中	間	期	末
		個	ij		額	累	盲	+	額	残			高
		相	1	当	額	相	7	当	額	相	1	í	額
建	<u></u> *		1,0	27,	773		23	5,4	.98		792	2,2	75
	ì	+ -	1,0	27,	773		23	5,4	.98		792	2,2	75

- (注) 取得価額相当額は、未経過リース料中 間期末残高が有形固定資産の中間期 末残高等に占める割合が低いため支払 利子込み法により算定しております。
- 2)未経過リース料中間期末残高相当額 1年以内 49,247 千円 1 年 超 743,027 千円 792.275 千円
- (注) 未経過リース料中間期末残高相 当額は、未経過リース料中間期 末残高が有形固定資産の中間 期末残高等に占める割合が低い ため支払利子込み法により算定 しております。
- 3)支払リース料、減価償却費相当額 支払リース料 16,768 千円 減価償却費相当額 16,768 千円
- 4)減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零と する定額法によっております。

前事業年度 自 平成16年 1月 1日 至 平成16年12月31日

リース物件の所有権が借主に移転すると認め られるもの以外のファイナンス・リース取引

1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累 計額相当額および期末残高相当額

							(里位	豆:十	円)
		取		得	減	価償	却	期		末
		価		額	累	計	額	残		高
		相	当	額	相	当	額	相	当	額
建	物					050			707	007
		1,0	027,	773		259,7	85		767,	987
合	計	1 (027,	773		259,7	25		767,	087
	ПI	١,١	υ∠I,	113		209,1	oo		101,	301

- (注) 取得価額相当額は、未経過リース料期 末残高が有形固定資産の期末残高等 に占める割合が低いため支払利子込み 法により算定しております。
- 2)未経過リース料期末残高相当額

	1年以内	49,283 千円
	1 年 超	718,704 千円
合計		767,987 千円

- (注) 未経過リース料期末残高相当額 は、未経過リース料期末残高が 有形固定資産の期末残高等に 占める割合が低いため支払利子 込み法により算定しております。
- 3)支払リース料、減価償却費相当額 支払リース料 41,055 千円 減価償却費相当額 41,055 千円
- 4)減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零と する定額法によっております。

(有価証券関係)

当中間会計期間末(平成17年6月30日現在)

関係会社株式で時価のあるものはありません。

当中間会計期間末に係る「有価証券関係」については、中間連結財務諸表における注記事項に記載しております。

前中間会計期間末(平成16年6月30日現在)

満期保有目的の債券で時価のあるもの 該当事項はありません。

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

	取得原価	比較貸借対照表 計 上 額	差額
(1)株式 (2)債券 国債·地方債等 社債 その他 (3)その他	24,786	32,102	7,316
合 計	24,786	32,102	7,316

前事業年度末(平成16年12月31日現在)

満期保有目的の債券で時価のあるもの 該当事項はありません。

その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

	取得原価	貸 借 対 照 表 計 上 額	差額
(1)株式 (2)債券 国債·地方債等 社債 その他 (3)その他	24,639	30,790	6,150
合 計	24,639	30,790	6,150

(デリバティブ取引関係)

当中間会計期間末(平成17年6月30日現在)

当中間会計期間に係る「デリバティブ取引関係」については、中間連結財務諸表における注記事項に記載しております。

前中間会計期間末(平成16年6月30日現在) デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価指益の状況(単位:千円)

ノ ババイノ 牧 コの 夫 記録 寺、 时 画 及 ひ 計 画 頂 画 の 状 加 (手 位・ 十 1)				
対象物の種類	取引の種類	契約額等	時価	評価損益
金利	スワップ取引	70,600	1,940	1,940

(注) 時価の算定方法については、取引先金融機関等から提示された価格によっております。

前事業年度末(平成16年12月31日現在)

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益の状況(単位:千円)

対象物の種類	取引の種類	契約額等	時価	評価損益
金利	スワップ取引	60,200	1,575	1,575

(注) 時価の算定方法については、取引先金融機関等から提示された価格によっております。

(1株当たり情報)

(1休 当 に 川 肯 報)				
当中間会計期間 自 平 成 17 年 1 月 1 日	前中間会計期間 自 平成16年1月1日	前事業年度		
自 平成 17 年 1 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日	自 平成 16 年 1 月 1 日 至 平成 16 年 6 月 30 日	自 平成 16 年 1 月 1 日 至 平成 16 年 12 月 31 日		
1株当たり純資産額 428.67円	1株当たり純資産額 457.58円	1株当たり純資産額 440.88円		
1株当たり中間純利益金額 12.72円	1株当たり中間純利益金額 13.49円	1株当たり当期純利益金額 21.79円		
	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益金額 13.49円	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 21.78円		
なお、潜在株式調整後1株当たり 中間純利益金額については、希薄 化効果を有する潜在株式が存在し ないため記載しておりません。				

(注) 1株当たり中間(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額のの算定上の基礎は、以下のとおりであります。

<u>υνου</u> ο			
項目	当中間会計期間 自 平 成 17 年 1 月 1 日 至 平 成 17 年 6 月 30 日	前中間会計期間 自 平 成 16 年 1 月 1 日 至 平 成 16 年 6 月 30 日	前事業年度 自 平成 16 年 1 月 1 日
	主 平 成 17 年 6 月 30 日	至 平成 16 年 6 月 30 日	至 平成 16 年 12 月 31 日
1株当たり中間(当期)純利益金額			
中間(当期)純利益(千円)			
	374,259	405,616	647,886
普通株式に係る中間(当期)			
純利益(千円)	374,259	405,616	647,886
普通株式に帰属しない金額			
(千円)			
普通株式の期中平均株式数			
(株)	29,411,650	30,059,358	29,733,597
潜在株式調整後1株当たり中間			
(当期)純利益金額(千円)			
中間(当期)純利益調整額			
(千円) ·			
普通株式増加数			
(株)		15,075	16,568
(うち自己株式取得方式による		·	·
ストックオ プション)		(15,075)	(16,568)
希薄化効果を有しないため、	平成13年3月29日定時株主総会		
潜在株式調整後、1株当たり	決議ストックオプション		
当期純利益の算定に含めな	(自己株式方式)		
かった潜在株式の概要	普通株式 209千株		
ガンに 自任休込の 概安	百世休以 203下休		